

令和6年度における本協議会の活動報告



水防災意識社会
再構築ビジョン

1. 各種協議会の開催概要

■ 行政ワーキンググループの開催

実施内容

- 行政ワーキンググループ(大阪府域)を中央流域センターで開催しました。
- 令和5年度の活動内容や取組状況を共有するとともに、各機関からの情報提供を行いました。
- 令和6年度の重点取組を「要配慮者利用施設における避難訓練の実施」とすることで認識共有を図りました。

| 会議名 | 開催場所 | 開催日 |
|-------------------|----------|--------------|
| 行政ワーキンググループ(大阪府域) | 中央流域センター | 令和6年5月21日(火) |

◆ 議題

- (1) 淀川管内水害に強い地域づくり協議会
 - 1) 規約の改正
 - 2) 協議会の概要
 - 3) 令和5年度の活動報告
 - 4) 減災に向けた取組状況の共有
- (2) 令和6年度の取組予定
 - 1) 情報提供
 - ① 国交省からの情報提供
 - ② 大阪府からの情報提供
 - ③ 気象台からの情報提供
 - ④ 事務局からのお知らせ
 - 2) 今年度の重点取組(案)
 - ・ 要配慮者利用施設における避難訓練の実施
- (3) 意見交換
 - ・ 連携内容(支援)の紹介
- (4) その他
- (5) 今後の予定

主な質問・意見

- 個別避難計画策定にあたって、どのようにしてプレストやワークショップの段階で要配慮者にご参加頂いたのか？
→ 高齢者の方にプレストの機会を設けた。その結果、要配慮者が多くおられる実態が広く認知され、支援班立ち上げにつながった。
- 訓練方法がわからない方に向けた取組はあるか？
→ 簡単な動画で図上訓練を解説したり、グループ施設で複数組織を集めて訓練を行ったりしている。



1. 各種協議会の開催概要

■ 首長会議の開催

実施内容

- 首長会議(大阪府域)を国民會館 大ホールで開催しました。
- 災害教訓の周知、普及の取組として各市町村の自然災害伝承碑について情報共有を行いました。
- タイムラインの作成や自然災害伝承碑に関する取組など、地域性を考慮した取組に関する意見交換を実施しました。

| 会議名 | 開催場所 | 開催日 |
|----------------|--------------|----------------|
| 首長会議 (大阪府域) | 国民會館 大ホール | 令和 6年 6月 7日(金) |

◆ 議題

- (1) 規約の改正・協議会の概要・令和5年度の活動報告
- (2) 令和6年度の取組予定
- (3) 災害教訓の周知・普及の取組紹介
- (4) 意見交換
- (5) 今後の予定



意見交換

※首長様のご発言

・ 自然災害伝承碑について、当市の大塚切れ伝承碑は大正6年の大洪水により建立されたが、平成29年に執り行った100周年記念イベントを機に、その後毎年若手職員を伝承碑前に連れて行って碑文を朗読している。同じ場所で同じような災害が起こることが多い。地域を含めて伝承していくことが必要と考える。また、伝承碑については、誰のものか分からないという例も多くある。倒壊した際、被害を与えることにもなりかねないので、今後、国土地理院の地図に載せることも含めて伝承碑を残していくのであれば、所有者の問題をはっきりさせる方がよい。(高槻市)

・ 昨年度の取り組みとして、浸水想定区域に該当する校区の子どもたちにマイトimelineの作成をしてもらった。子どもたちにどのようにして逃げる必要があるのか当事者意識を持ってもらう。こども議会で発表してもらい、我々が質問を受け付けるという形を取った。(島本町)



濱田高槻市長 山田島本町長 平田 淀川左岸水防 事務組合事務局長 西大阪府 政策企画部 危機管理室長 小池大阪府 都市整備部 河川室長 宋戸大阪府 都市整備部 事業調整室長 善本 淀川ダム統合管理 事務所長 淀川河川事務所長

1. 各種協議会の開催概要

■ブロック別会議の開催

実施内容

- ブロック別会議を、淀川中流、淀川下流の各ブロックで開催しました。
- 令和6年度のソフト対策の実施予定、連携内容について、情報・認識を共有したほか、流域タイムラインに関する意見交換を行いました。

| 会議名 | 開催場所 | 開催日 |
|--------------|-----------------|------------------|
| 淀川中流 ブロック | 近畿地方整備局 (本局) | 令和6年 8月6日(火) |
| 淀川下流 ブロック | 近畿地方整備局 (本局) | 令和6年 8月22日(木) |

◆議題

1. 今年度のソフト対策の取組事項等の確認
 - (1)昨年度の実施・連携内容の振り返り(鉄道WGの連携内容を含む)
 - (2)今年度の取組事項及び支援希望内容の確認
2. 淀川水系流域タイムラインの更新について
 - (1)氾濫する可能性のある水位の更新
 - (2)流域タイムライン(R7年度運用版)の更新
3. その他
 - (1)災害対応事例集(素案)について
 - (2)R3年度住民意識調査アンケート結果報告、R6年度実施アンケート文案の提示
 - (3)今後の予定



淀川中流ブロック



淀川下流ブロック

市町村からの主な支援要望 ※但しブロック別会議開催時

- ・勉強会・研修会の開催 - 自治体(茨木市)
- ・マイ防災マップの作成(枚方市)
- ・マイタイムラインの作成(守口市、枚方市)
- ・コミュニティタイムラインの作成(守口市)
- ・要配慮者利用施設の避難訓練(高槻市)
- ・まるごとまちごとハザードマップの設置(摂津市)
- ・まるごとまちごとハザードマップの高度化(茨木市、島本町)

1. 各種協議会の開催概要

■ 鉄道ワーキンググループの開催

実施内容

- 淀川管内水害に強い地域づくり協議会における鉄道ワーキンググループの位置づけ、設立以来の活動内容、昨年度以降の鉄道事業者による自治体支援内容を共有しました。
- 自治体からの支援要望を鉄道事業者に伝えるとともに、車両避難に必要となる情報の確認、鉄道事業者への情報提供方法について意見交換を行いました。

| 会議名 | 開催場所 | 開催時期 |
|-------------|------|-----------------|
| 鉄道ワーキンググループ | WEB | 令和7年 2月4日(火) |



議論の概要

【自治体からの支援要望対応】

・ハザードマップや防災アプリチラシの配架については、各鉄道事業者とも今後も協力に前向きであるとの回答を得た。また、JR西日本のPDPへの情報表示についても、非常時を除いて今後も対応可能であるとの回答を得た。

【車両避難の実現に向けて】

- ・鉄道事業者の車両避難計画について、各社がフローや判断基準に基づいて対応した事例について共有した。
- ・淀川流域タイムラインに記載されているweb会議について、参加を希望する鉄道事業者は淀川河川事務所に連絡するよう依頼した。
- ・現状のタイムラインでは鉄道事業者欄が空欄となっているが、車両避難のリードタイムが分かれば追記可能であることを共有した。
- ・避難対策を立てる上で活用しているハザードマップについて、南海トラフ地震対策工事の結果を反映して更新作業中であり、見直し完了の時期が分かり次第、鉄道ワーキンググループ等で説明を行う旨を報告した。

1. 各種協議会の開催概要

■河川情報、河川氾濫リスクに係る研修会の開催

実施内容

- 淀川管内水害に強い地域づくり協議会の構成員を対象とし、「水害対応に備えた研修会」をWEB方式で開催しました。
- 研修内容は、1. 水位観測と洪水予報(情報発信)、2. 河川氾濫に備えた予測情報(検索方法)とし、情報の種類や検索方法を説明しました。

| 会議名 | 開催場所 | 開催時期 |
|-------------|------|--------------|
| 水害対応に備えた研修会 | WEB | 令和7年2月21日(金) |

研修内容

1. 水位観測と洪水予報(情報発信)

- (1) 水位観測所、危機管理型水位計について
- (2) 観測水位データの確認方法の紹介
- (3) 洪水予報と警戒レベルとの関係

2. 河川氾濫に備えた予測情報(検索方法)

- (1) 河川の予測水位データ
- (2) 堤防が決壊した際の浸水リスク



③水位観測所における基準水位の概説

水位イメージ図

- 氾濫危険水位**
 - 川からいつ水があふれ出してもおどかしくない危険な状況を示す水位
 - 避難指示の発令判断の目安となる水位
- 避難判断水位**
 - 住民の避難判断の参考となる水位
 - 避難者や避難の発令判断の目安となる水位
- 氾濫注意水位**
 - 住民に対して、氾濫に関する情報への注意を喚起するための水位
 - 水防団が出勤に備え準備を行い、氾濫に対する注意喚起を行う水位
- 水防団待機水位**
 - 洪水による災害の発生を警戒するための水位
 - 水防団が出勤に備え、自宅等で準備を行う水位

③水害リスクラインによる危険度など情報の確認

4. 詳細図：画面右側の「情報」欄で危険度など情報が確認できる。

- ①破堤点をONにすると、破堤点のアイコンが表示され、その地点で破堤した場合の想定浸水域が表示される。
- ②距離標を表示できる
- ③洪水の危険度を確認できる。
洪水の危険度は以下のとおり。
・**統合危険度**：現時点での危険度
・**洪水の危険度レベル**：6時間先までの予測危険度
・**危険水位と河川水位の差**
・**危険水位までの到達時間**
- ④リアルタイムと履歴の切り替えができる。
- ⑤水系の危険度距離標一覧を表示できる。

④浸水ナビの操作方法3

⑥アニメーションの「▶開始」をクリックすると時系列の浸水シミュレーションが表示される。

2. まるごとまちごとハザードマップ

■まるごとまちごとハザードマップの設置状況

実施内容

●公共施設（駅等）の付近の電柱などに想定浸水深を示した看板を設置しました。



コンビニ付近の電柱(摂津市)



スーパー付近の電柱(摂津市)



交差点付近の電柱(摂津市)



島本駅西口の壁面(島本町)

◆令和6年度まるごとまちごとハザードマップの設置状況

| 市町村名 | | 設置箇所 |
|------|-----|------|
| 大阪府域 | 摂津市 | 3 |
| | 島本町 | 1 |
| 合計 | | 4 |

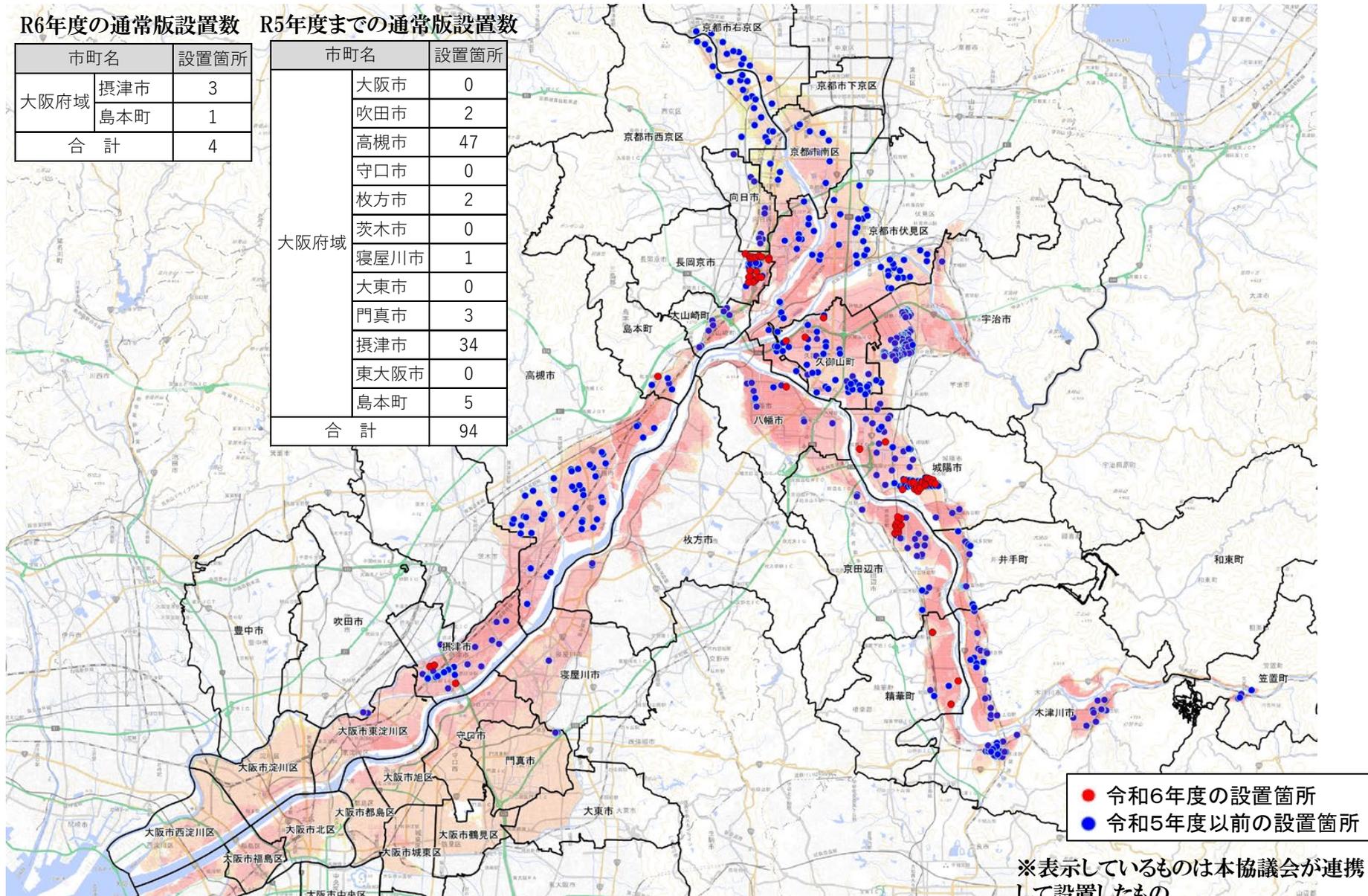
2. まるごとまちごとハザードマップ

■まるごとまちごとハザードマップ(通常版)の設置状況

R6年度の通常版設置数 R5年度までの通常版設置数

| 市町名 | 設置箇所 |
|------|------|
| 大阪府域 | |
| 摂津市 | 3 |
| 島本町 | 1 |
| 合計 | 4 |

| 市町名 | 設置箇所 |
|------|------|
| 大阪府域 | |
| 大阪市 | 0 |
| 吹田市 | 2 |
| 高槻市 | 47 |
| 守口市 | 0 |
| 枚方市 | 2 |
| 茨木市 | 0 |
| 寝屋川市 | 1 |
| 大東市 | 0 |
| 門真市 | 3 |
| 摂津市 | 34 |
| 東大阪市 | 0 |
| 島本町 | 5 |
| 合計 | 94 |



● 令和6年度の設置箇所
● 令和5年度以前の設置箇所

※表示しているものは本協議会が連携して設置したもの

2. まるごとまちごとハザードマップ

■まるごとまちごとハザードマップ(高度化)の設置状況

実施内容

●公共施設(集会所、公園、学校等)の付近の照明柱などに青色塗装を施しました。



水無瀬川緑地公園



水無瀬駅南口タリ一



桜井高浜幹線(楠公道路)
おおさか北信金前



桜井高浜幹線(楠公道路)
第一中学校と電気店の境界付近



桜井高浜幹線(楠公道路)
第一中学校通用門信号機付近



医療ビル前中央分離帯

◆令和6年度まるごとまちごとハザードマップ(高度化)の設置状況

| 市町村名 | | 設置箇所 |
|------|-----|------|
| 大阪府域 | 島本町 | 6 |
| 合計 | | 6 |

2. まるごとまちごとハザードマップ

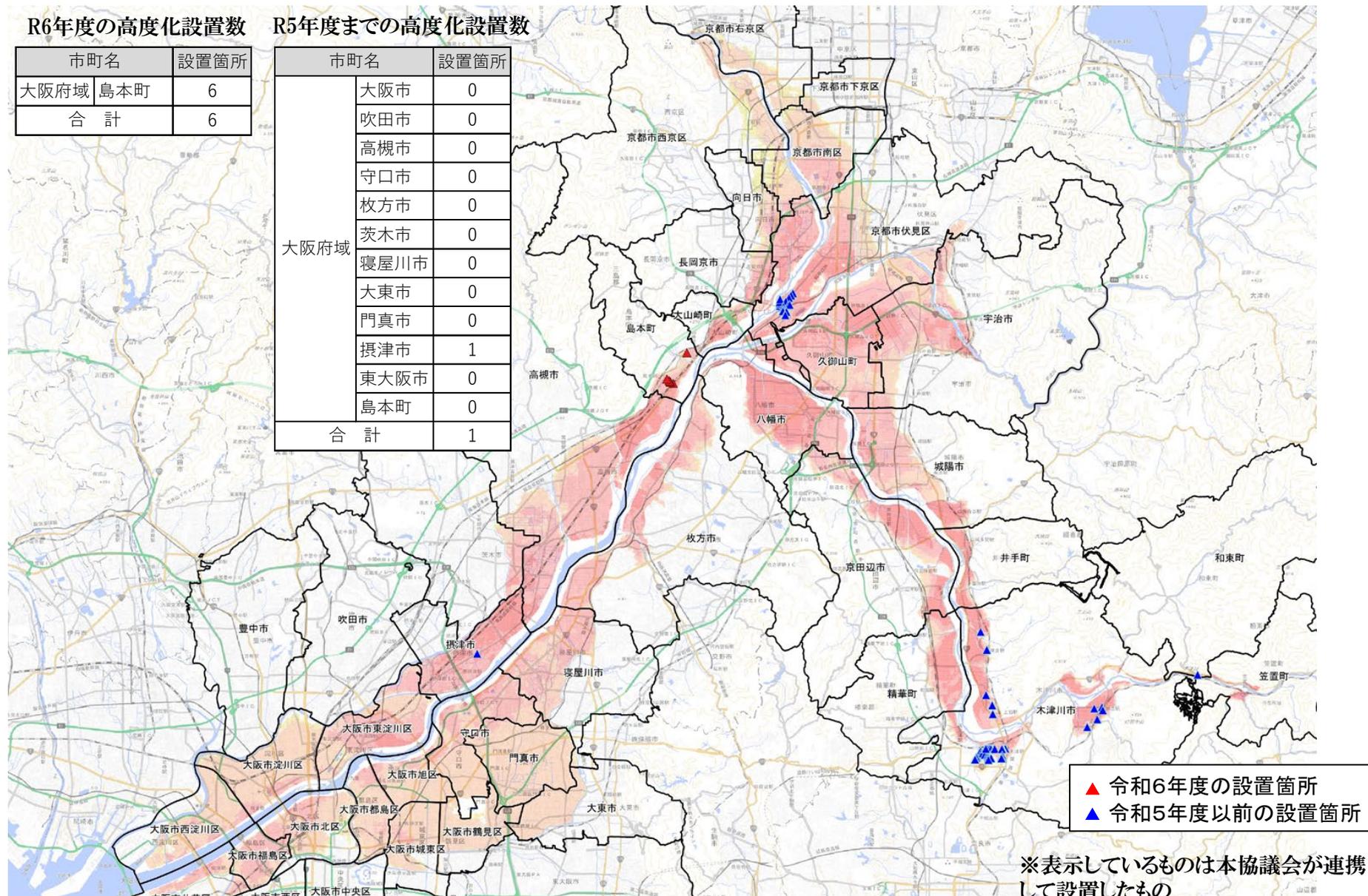
■まるごとまちごとハザードマップ(高度化)の設置状況

R6年度の高度化設置数

| 市町名 | 設置箇所 |
|----------|------|
| 大阪府域 島本町 | 6 |
| 合計 | 6 |

R5年度までの高度化設置数

| 市町名 | 設置箇所 |
|------|------|
| 大阪府域 | |
| 大阪市 | 0 |
| 吹田市 | 0 |
| 高槻市 | 0 |
| 守口市 | 0 |
| 枚方市 | 0 |
| 茨木市 | 0 |
| 寝屋川市 | 0 |
| 大東市 | 0 |
| 門真市 | 0 |
| 摂津市 | 1 |
| 東大阪市 | 0 |
| 島本町 | 0 |
| 合計 | 1 |



▲ 令和6年度の設置箇所
▲ 令和5年度以前の設置箇所

※表示しているものは本協議会が連携して設置したもの

3. 住民参加型の研修会、勉強会の取組支援

■マイ防災マップの作成支援

実施内容

●地域住民が避難行動を自律的に、安全に行うために、地域に特化した防災マップ作成の支援を行いました。具体的には、ワークショップ形式でのマイ防災マップ作成に向けた説明資料の作成を行うとともに、住民等への資料説明、まち歩き、意見集約も含めた運営補助を実施しました。

【ワークショップ一覧】

| 項目 | 研修会・勉強会名 | 支援概要 |
|--------------------------|---|-------------------------|
| 1.マイ防災マップの作成支援（枚方市伊加賀校区） | 令和6年度 枚方市伊加賀校区 マイ防災マップ作成 ワークショップ・まち歩き | 資料作成、 議事進行、 マップ作成 |

【ワークショップ内容】

- 趣旨説明、基礎知識の習得
水害の基礎知識の習得
- 地形等の把握と注意箇所、避難経路の記入
地形等の把握/注意箇所、避難経路の記入
- まち歩きによる避難経路の確認
現地で注意箇所の確認/新たな注意箇所の把握/より安全な避難経路の確認
- まち歩き結果整理と情報共有
まち歩き結果を発表用地図に記入/安全な避難経路の確認/まち歩き結果の発表による情報の共有/避難所までの推奨ルートを設定



枚方市 伊加賀校区
マイ防災マップの作成

令和6年11月4日

発表資料例：枚方市 伊加賀校区
マイ防災マップの作成



参加者の意見を反映して作成したマイ防災マップ

枚方市ワークショップ・まち歩き(令和6年11月4日実施)

3. 住民参加型の研修会、勉強会の取組支援

■マイ・タイムラインの作成支援

実施内容

●水害や避難に関する基礎知識の向上を目的として、住民参加型の研修会や勉強会の支援を行いました。具体的には、ワークショップ形式でのマイ・タイムライン作成に向けた説明資料の作成や、住民等への資料説明などの運営補助を実施しました。

【ワークショップ一覧】

| 項目 | 研修会・勉強会名 | 支援概要 |
|-----------------------------------|---|---------------|
| 1.マイ・タイムラインの作成支援 (枚方市地域防災専門研修) | 枚方市 地域防災専門研修 ワークショップ 「マイ・タイムラインの作成」 | 資料作成、 運営補助 |
| 2.マイ・タイムラインの作成支援 (枚方市明倫校区) | 枚方市 地域防災専門研修 ワークショップ 「マイ・タイムラインの作成」 | 資料作成、 演習補助 |

【ワークショップ例】

STEP①近年の気象傾向とマイ・タイムラインの紹介
近年の気象の傾向と水害事例/マイ・タイムラインとは/マイ・タイムライン検討ツール『逃げキッド』の中身の確認

STEP②地域の水害リスクの確認
淀川管内、枚方市で起きた過去の風水害/水害の種類について/
ハザードマップの見方/自宅の水害リスクと家庭の状況、避難先までの移動手段・移動時間の記入

STEP③災害情報と避難行動の確認
「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！/
「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！/避難するときのポイント

STEP④マイ・タイムラインの作成
逃げキッド『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！の説明/
マイ・タイムラインの作成



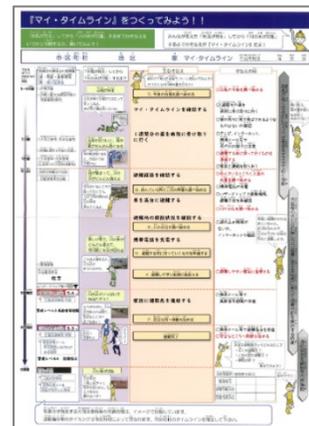
枚方市ワークショップ(令和6年12月14日実施)



枚方市ワークショップ(令和7年1月18日実施)



発表資料例:マイタイムラインの作成



使用したツール「逃げキッド」11

令和6年度における 市町等の取組状況



水防災意識社会
再構築ビジョン

目次

| | |
|---|----|
| 吹田市（3Dハザードマップ「リアルハザードビューア」の導入） | 14 |
| 高槻市（淀川広域避難タイムラインについて） | 15 |
| 枚方市（地区防災計画の作成支援（広域避難に向けた取り組み）） | 16 |
| 茨木市（水害・土砂災害ハザードマップの更新） | 17 |
| 寝屋川市（寝屋川市地域コミュニティ活性化推進条例の概要） | 18 |
| 大東市（避難確保計画に基づく要配慮者利用施設の避難訓練の支援等） | 21 |
| 門真市（小学校の4年生を対象にARアプリを活用した防災授業を実施、ARアプリを用いた防災授業の様子） | 22 |
| 摂津市（水害対応ガイドブックの作成、まるごとまちごとハザードマップの設置、地域版防災マップ及び啓発動画の作成） | 23 |
| 島本町（マンホールトイレ、段ボールベット、メッシュテントの組立体験、展示、まるごとまちごとハザードマップ（高度化）の設置） | 24 |

吹田市の取組状況について

■3Dハザードマップ「リアルハザードビューア」の導入 -被害対象を減少させるための対策-

取組内容

- 従来の2次元の地図情報によるハザードマップでは、実際の水害時の状況をイメージすることや、自宅等での「垂直避難」を検討するための情報が少なく、水害対策に係る地域住民の主体的な避難行動の検討や防災教育等での活用が難しいことから、3Dデジタルマップを活用したリアルな水害体験の啓発が可能である防災啓発ブラウザサービス「リアルハザードビューア」を令和6年8月より導入し、運用を開始。

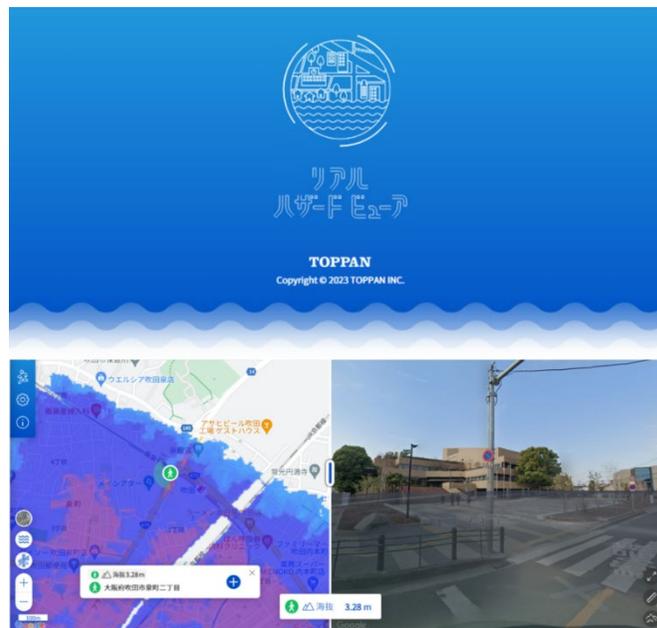
リアルハザードビューアの概要

◆機能◆

- ・GoogleMapとGoogleStreetView等を用いた3Dマップ上に洪水浸水想定区域図(L2)の浸水深を可視化
⇒ GoogleStreetViewと同様のインターフェース・操作感覚でリアルな浸水深を閲覧可能
- ・マップ上に登録された避難所情報を基に、ユーザーが自由に避難ルート等を設定して避難動線を確認可能
- ・ユーザー登録した場合、危険箇所や防災情報を地図上にタグ付けることが可能となり、各自・各家庭の防災ツールとして活用可能
- ・専用アプリ等が不要なブラウザサービスのため、誰でもPCやスマホからアクセスすることが可能

◆参考経費◆

- ・システム利用料(月額) 264,000円(税込)
- ※別途、初期構築費が必要(約600万円)



活用状況

様々な機会を捉えて周知・啓発を実施

▶R6年度利用者数(8月~)

のべ **約2,800人**

+防災訓練・講座等で**約500人**が操作を体験

◆防災訓練・防災講座での操作体験◆



▶地域防災総合訓練に体験ブースを設置(その他、地域の防災訓練等にも複数回出展) ▶風水害対策の啓発に合わせて機能を紹介

◆市報等での周知啓発◆

洪水になったときの浸水状況を
3Dデジタルマップで確認できる

リアルハザードビューア

Googleマップのストリートビューと洪水ハザードマップの浸水情報を組み合わせたリアルハザードビューアを新たに導入。自宅やよく行く場所が洪水時にどれくらい浸水するかを、実際のまちの景色の中で感覚的に見ることが出来ます。この機会に確認し、正しい避難経路について考えてみましょう。

※ホームページ

高槻市の取組状況について

淀川広域避難タイムラインについて

活動報告

● 淀川広域避難に関する市民周知や訓練の実施

淀川広域避難の避難先は・・・
 ● 避難所には、多くの避難者が集まります。大規模な災害時には、避難所が機能しない可能性があります。事前に避難先を確認してください。

淀川広域避難の避難先は・・・
 ● 淀川広域避難の避難先は、淀川沿いの河川敷や堤防の背後などにあります。事前に避難先を確認してください。

淀川広域避難の避難先は・・・
 ● 淀川広域避難の避難先は、淀川沿いの河川敷や堤防の背後などにあります。事前に避難先を確認してください。

淀川の氾濫に備えて
 いざという時に備えよう

大雨や台風（台風）の「大規模な」以降、淀川の氾濫は発生しやすくなります。氾濫による被害は、人命や財産の損失、交通の麻痺など、甚大な被害をもたらします。淀川の氾濫に備えて、いざという時に備えよう。

淀川が氾濫する場合は、避難所や避難先を確認してください。

全戸配布

● 避難所は・・・
 避難所は、大規模な災害時には、避難所が機能しない可能性があります。事前に避難先を確認してください。

● 避難所は・・・
 避難所は、大規模な災害時には、避難所が機能しない可能性があります。事前に避難先を確認してください。

淀川広域避難の広域避難

淀川沿いの河川敷や堤防の背後などにあります。事前に避難先を確認してください。

市ホームページ

令和6年度 高槻市地域防災総合訓練

J:COM広報番組

淀川が氾濫したら？ 命を守る行動を

その他、市民出前講座等にて周知啓発を実施

淀川広域避難リーフレット

淀川が氾濫したら？ 避難はいつ、どこに？

大雨や台風（台風）の「大規模な」以降、淀川の氾濫は発生しやすくなります。氾濫による被害は、人命や財産の損失、交通の麻痺など、甚大な被害をもたらします。淀川の氾濫に備えて、いざという時に備えよう。

全戸配布

全戸配布

● 避難所は・・・
 避難所は、大規模な災害時には、避難所が機能しない可能性があります。事前に避難先を確認してください。

自衛隊ヘリが訓練後着陸！ 間近で見学可能

お越しいただいた方にはプレゼントがあります！ ※先着順。数に限りがあります

日時 令和7年1月26日（日）9:30～11:30
 （展示エリアは9:30～12:00）

訓練会場 淀川河川公園 大塚地区

訓練内容 広域避難・情報収集伝達訓練・水防訓練 救助訓練など

※ヘリコプターやドローンの飛行あり

※見学可

展示エリア 災害時に活動する特殊車両を多数展示。写真撮影可

※詳細は裏面

主催 高槻市防災会議

地域防災総合訓練チラシ

総合救助訓練

水防訓練

救助訓練(自衛隊)

市民の広域避難訓練

- 【訓練想定 淀川の氾濫】**
- 市民の広域避難
 - 道路啓開、架空線復旧
 - 救護所開設、避難所運営訓練
 - 情報収集伝達訓練
 - 水防訓練
 - 救助訓練
 - 総合救助訓練

枚方市の取組状況について

■地区防災計画の作成支援(広域避難に向けた取組み)

- 浸水する校区から浸水しない校区への避難について、事前にルール(対象地域や避難開始のタイミング等)を地区防災計画として決めました。
- 計画に基づいた避難訓練を実施し、コミュニティタイムラインの作成にも繋がりました。
- これまでに**68の校区・自治会**が計画を策定しています。また、策定した計画は本市ホームページで公開し、他の地域と共有を行っています。

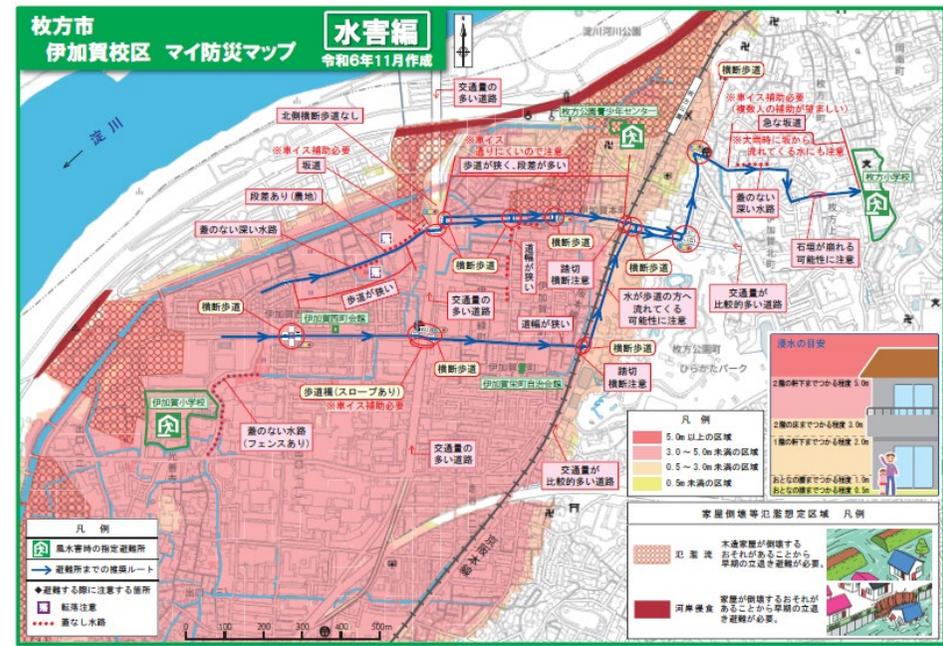
(本市地区防災計画ホームページ)

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/kikikanri/0000037940.html>



活動報告

【計画策定及び訓練実施状況】



茨木市の取組状況について

■水害・土砂災害ハザードマップの更新

活動報告

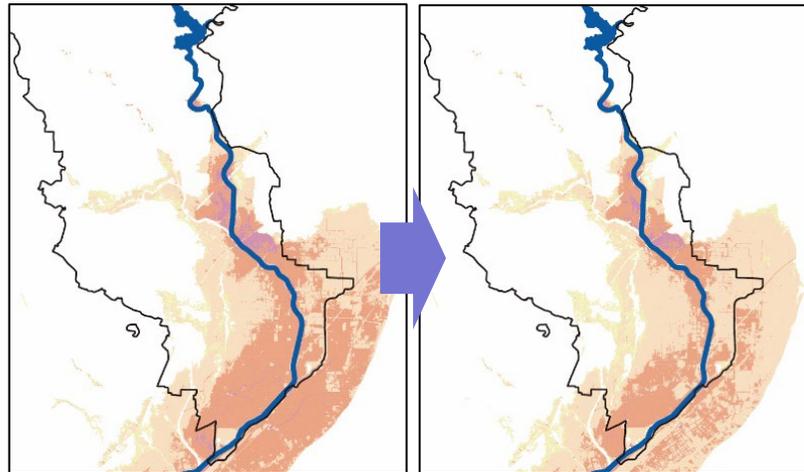
- 令和5年12月に更新された安威川等の洪水浸水想定区域を反映するため、水害・土砂災害ハザードマップの情報を更新
- 分析の結果、想定最大規模降雨の浸水範囲は1.4%の減少に止まるものの、計画規模降雨の浸水範囲は、71.3%減少
- 更新に合わせて避難情報の発令対象地域の更新や神崎川の洪水浸水想定区域の追加等を実施
- 冊子版は全戸配布はせず、市役所や図書館で配布し、新たに電子書籍版をホームページに掲載

令和6年11月更新茨木市水害・土砂災害ハザードマップ



見分けるポイント

安威川等の洪水ハザードマップの比較



洪水浸水想定区域の更新に伴い、要避難人口の分析を再度実施
安威川ダムの整備に伴い浸水深が減少し、安威川の要避難人口が減少



全戸配布の代わりに電子書籍版を公開
PDF版よりも操作性が向上

寝屋川市地域コミュニティ活性化推進条例の制定（令和7年4月1日施行）

活動報告

多くの市民が地域コミュニティの役割・重要性を理解し、地域コミュニティの一員として、各人の生活のゆるす限りにおいて、地域コミュニティに参画し、市民が安心して暮らせるまちの実現に繋げることを目的とした条例を制定。

■ 背景

- ① 価値観の多様化等による「自治会の加入率の低下」
- ② 高齢化の進行等による「中心的な役割を担う人材の不足」

- ① 地域の防災活動ができなくなることによる「共助の機能停止」
- ② 高齢者、子どもの見守り活動ができなくなることによる「平時の安心の低下」
- ③ 地域パトロール等の活動ができなくなることによる「治安の悪化」

本市では、大規模災害時においては、自治会を中心とした、小学校区単位で組織している「地域協働協議会」に避難所の開所等を行ってもらうことを想定している。

■ 条例の構成

● 条例前文

これまで自治会や地域協働協議会が市の発展に大きく寄与して頂いたことを記載した上で、自治会への加入と地域活動への参画の重要性を記載

● 条文

「地域住民」「自治会・地域協働協議会」など各主体の役割を規定。

【災害用備蓄品購入支援補助金の新設】

地域における共助の取組を支援するため、自治会単位で災害備蓄品の購入費用を補助。

《対象備蓄品（案）》

メガホン・消火用バケツ・チェーンソー等を検討中

条文の内容

第1条(目的)

共助の重要性を踏まえ、地域住民の自治会への加入や地域活動への参画・参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化を推進し、地域住民が安全・安心に暮らすことができる地域社会の実現に寄与する。

第2条(定義)

自治会、地域協働協議会、地域コミュニティ、地域活動(地域コミュニティの維持・活性化に資する活動)の用語を定義する。

第3条(地域住民の役割)

地域住民は、地域コミュニティの重要性を理解し、自治会への加入や地域活動への参画・参加に努める。

第4条(自治会及び地域協働協議会の役割)

地域住民の価値観や自主性を尊重し地域活動を行うとともに、地域住民が参画・参加しやすい開かれた組織運営に努める。

第5、6条(事業者の役割)

第5条 事業所が所在する地域活動への積極的な参画・参加に努める。
第6条 当該住宅に入居する者に対し、自治会への加入促進に関する情報提供に努める。

今後の
関連事業

■避難確保計画に基づく要配慮者利用施設の避難訓練の支援等

活動報告

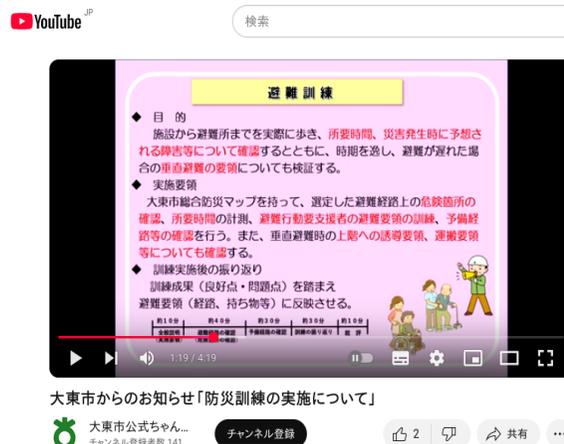
- 令和3年5月、水防法等の改正に伴い浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の管理者等は、避難訓練の実施及び市への訓練結果報告の提出が義務となった。
- 市は、**避難訓練の種類や実施要領及び訓練報告書の作成要領等の動画を作成**して解説
- 訓練未実施施設に対し、**メールや電話等で訓練の実施を促す**。
- 訓練の企画及び訓練支援を希望する施設に対して **危機管理室で訓練支援を実施**

【広報動画(YouTubeの作成)】

●動画の内容

- ・ 避難訓練の種類及び企画要領の解説
- ・ 訓練報告書の作成要領

※訓練のやり方や報告の書き方がわからないという意見が多かったため



【訓練支援】

- 施設名
わかたけ子ども園
- 訓練形式
図上訓練(避難確保計画の検証)
- 訓練要領
水害シナリオに応じた災害状況を付与して、避難確保計画とおりに行動できるかを施設の主な職員（班長）と検証



活動の効果

ならびに

今後の課題

【効果】

- 訓練目的に応じ、実施要領によっては軽易に避難訓練が実施できることが浸透
- 各事業所と顔の見える関係が構築（訓練支援等）

【課題】

- 危機管理室の訓練支援能力に限界あり（職員の不足等）

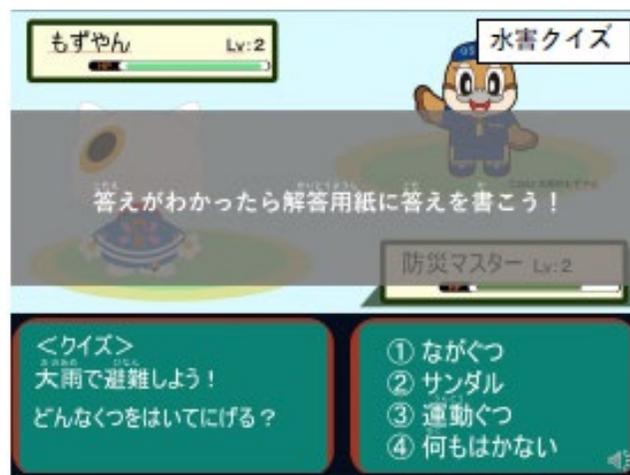
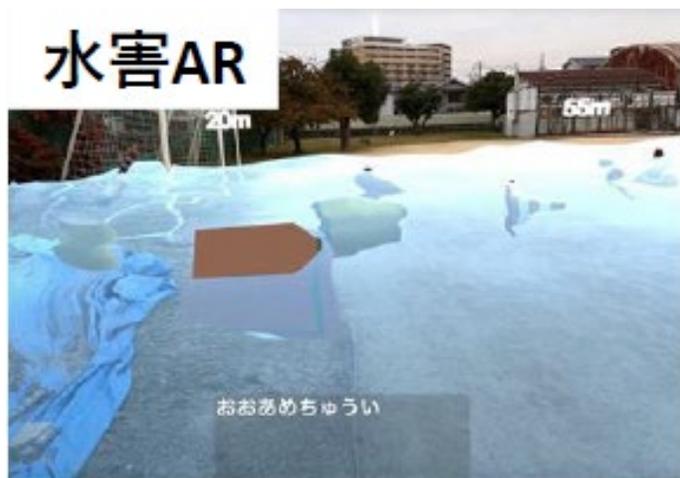
門真市の取組状況について

■ 小学校の4年生を対象に、ARアプリを活用した防災授業を実施

活動報告

- 目的：学校で楽しみながら防災学習 → 子供たちの防災に対する理解、興味のきっかけづくり
子どもたちが学校で体験した内容を家庭内で共有 → 家庭内での防災意識の向上
- 概要：大阪公立大学が開発したAR(拡張現実)アプリを活用し、学校の敷地内に配置されている各ポイントをめぐり、スマートフォンの画面を通じて災害を疑似体験。
また、クイズ形式で災害について学んでもらう授業を開催。
(協力：大阪大学、大阪公立大学、大阪府都市防災課)
- 対象：門真小学校 4年生(約30名×2クラス)
- 実施日：令和6年11月22日(金)

■ ARアプリを用いた防災授業の様子



ダイジェスト動画があります(youtube)

<https://www.city.kadoma.osaka.jp/kurashi/anshin/4/6/32968.html>

摂津市の取組状況について

保存版

水害対応ガイドブック

洪水・内水ハザードマップ

正しい知識を身につけ、早めの避難を!

浸水のおそれがない地域へ!

●目次

- はじめに.....1
- 水害の種類.....2
- 外水知識 洪水浸水想定区域図 畿川.....3-4
- 外水知識 洪水浸水想定区域図 安威川等.....5-6
- 内水知識 洪水浸水想定区域図 安威川等.....7-8
- 避難について.....9-12
- 避難情報の収集方法.....13
- 日頃の備え.....13-14
- マイ・タイムライン.....15-16
- 内水知識.....17
- チェックリスト.....18

逃げ遅れた場合は
高い建物へ!

摂津市

※見本

活動報告①

- 洪水・内水ハザードマップを兼ねた啓発冊子（水害対応ガイドブック）を作成し、全戸へ配布
- ・安威川ダム供用開始に伴うハザードマップの更新
- ・洪水・内水とも水防法に基づくもの

活動報告②

- まるごとまちごとハザードマップの設置
- ・市内3箇所の電柱に新規設置
- ・通学路、交通量の多い道路から設置場所を選定
- ・まるごとまちごとハザードマップ設置場所 計38箇所（電柱以外も含む。令和7年4月時点）

※見本

700

100

※見本

330

500

5.6m

想定浸水深
Flood Water Depth (Projected)

この場所は畿川が氾濫すると
5.6m浸水する可能性があります

摂津市 / Settsu City
安威川河川事務所 / Yodanawa River office
5012

※見本

活動報告③ ○1つの小学校区をモデルとし、広域避難について考えるワークショップ等を開催し地域版防災マップ及び啓発動画を作成

摂津市みんなで考える 広域避難プロジェクト 鳥飼東小学校区

ワークショップを開催

- ①水害時の避難方法を考える
- ②防災まちあるきを通して地域の水害リスクを知る
- ③地域に広域避難を広める方法を考える

摂津市みんなで考える広域避難プロジェクト
鳥飼東小学校区編

鳥飼東小学校区で 広域避難を広めていく方法を 話し合いました。

島本町の取組状況について

■マンホールトイレ、段ボールベット、メッシュテントの組立体験、展示

- 令和6年10月14日に自主防災会の防災訓練に防災指導員と危機管理室職員が参加し、マンホールトイレの組立体験、展示を行いました。



- 令和7年1月19日に町立中学校で開催した防災とボランティア訓練において、段ボールベット、メッシュテント、マンホールトイレの組立体験、展示を行いました。



■まるごとまちごとハザードマップ(高度化)の設置

- 令和7年1月に淀川河川事務所がまるごとまちごとハザードマップの高度化として町内の駅前や歩道、公園など6か所に設置いただきました。屋外で浸水深が一目で分かる洪水の恐ろしさを広報などでPRしてまいります。

